

2004年10月12日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

住友商事株式会社

セロ・ベルデ銅鉱山への資本参加について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：福島 孝一）と住友商事株式会社（本社：東京都中央区 社長：岡 素之）（以下両社をあわせて「住友」という。）は、セロ・ベルデ銅鉱山（ペルー共和国アレキパ州）を保有するセロ・ベルデ社に資本参加することについて、米国最大手の産銅会社フェルプス・ドッジ社（本社：アリゾナ州フェニックス市）およびペルーの鉱山会社のブエナベンチャーラ社（本社：ペルー共和国リマ市）との間で基本合意に達しました。

現在、セロ・ベルデ社は、フェルプス・ドッジ社が 82.5%、ブエナベンチャーラ社が 9.2%、一般株主が 8.3%の株式を所有しておりますが、今回、セロ・ベルデ社が硫化鉱床の開発を実施するために行う増資に、住友が応じることといたしました。

資本参加に関する条件の細部については、今後数ヶ月以内に決定することになっております。住友側の出資比率は、21～25%の範囲内、出資額にして 265～334 百万米ドルとすることで合意しております。今後、ブエナベンチャーラ社および他の一般株主の増資引受状況により住友の出資比率が確定いたします。住友金属鉱山と住友商事の出資割合は、8対2です。

なお、ブエナベンチャーラ社は出資比率を最大 20%まで引き上げるようになっており、フェルプス・ドッジ社は増資後も過半数を維持する方針です。

現在セロ・ベルデ社は、SX/EW プロセスにより電気銅を年間約 9 万トン生産しておりますが、約 8.5 億米ドルの開発費で、硫化鉱床の開発を実施いたします。住友の出資金は、この開発費に充当されます。硫化鉱床開発により、2006 年第 4 四半期から銅精鉱（年間生産銅量約 18 万トン）を生産する予定であり、住友は、そのうち少なくとも出資比率分の銅精鉱を買い取る権利を保有することになっております。

住友は、アリゾナ州のモレンシ鉱山およびチリ国のラ・カンデラリア鉱山での共同事業を通じてフェルプス・ドッジ社と強固な信頼関係を維持しておりますが、このたびのセロ・ベルデ社への資本参加により一層の関係強化が期待されます。

住友金属鉱山の資源・金属事業部門は、現在実行中の中期経営計画において「10年後の非鉄メジャークラス入り」を果たすことを目標にしており、銅については東予製錬所の年産45万トン体制を確立すべく増強を進めております。そのためには新規銅資源の確保が急務ですが、このたびの資本参加により有力な原料ソースを取得できることとなり、上記目標のための基盤作りが一步前進いたしました。住友金属鉱山は、今後も安定的な資源の確保と製錬能力の増強に努め、コアビジネスである資源・金属事業の拡充・強化を進めてまいります。

住友商事といたしましては、インドネシア国バツ・ヒジャウ鉱山等において保有する銅資源上流権益に、フェルプス・ドッジ社との更なる戦略的提携を加えることにより、銅鉱山事業における地歩を一層堅固なものにします。また、工業化社会の発展に必要な不可欠である金属資源の確保と長期安定供給という役割を果たすべく、商社機能の更なる充実と高度化に努めていきたいと考えております。

(本件に関するお問い合わせ先)

住友金属鉱山株式会社

資源事業部事業室担当部長 井上泰二郎

TEL: 03 - 3436 - 7805

FAX: 03 - 3436 - 7997

住友商事株式会社

広報部 報道チーム 上田 昌彦

TEL: 03 - 5166 - 3096

FAX: 03 - 5166 - 6203

以上